

事業報告書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 社会医療法人 志聖会
- ① ☐財団 ☒社団 (☒出資持分なし ☐出資持分あり)
- ② ☒社会医療法人 ☐特別医療法人 ☐特定医療法人
☐出資額限度法人 ☐その他
- ③ ☐基金制度採用 ☒基金制度不採用

(2) 事務所の所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二タ子塚6

(3) 設立認可年月日 昭和43年9月21日

(4) 設立登記年月日 昭和43年9月27日

(5) 役員

	氏 名	備 考
理 事 長	竹 腰 篤	
理 事	齊 藤 雅 也	総合犬山中央病院管理者
同	鬼 頭 すみゑ	
同	武 田 明 久	
同	杉 村 恒 人	
同	福 井 貴 巳	
同	加 藤 彰 裕	
同	太 田 圭 洋	社会医療法人 名古屋記念財団 理事長
同	今 村 康 宏	医療法人 済衆館 理事長
監 事	千 田 康 右	
同	川 本 一 男	

2 事業の概要

(1) 本来業務

種 類	施 設 の 名 称	医療機関コード	開 設 場 所	許 可 病 床 数
病 院	社会医療法人志聖会 総合犬山中央病院	2313400521	愛知県犬山市大字五郎丸 字二タ子塚6	一般病床 288 床

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

事業名	実施場所	備考
犬山南地区高齢者 あんしん相談センター 【犬山市から委託を受けて管理】	愛知県犬山市大字五郎丸字ニタ子塚6	
犬山中央居宅介護 支援事業所	愛知県犬山市大字五郎丸字ニタ子塚6	
犬山中央 訪問看護ステーション	愛知県犬山市大字五郎丸字ニタ子塚6	
みどりの園（病児保育） 【犬山市から委託を受けて管理】	愛知県犬山市大字五郎丸字ニタ子塚6	令和6年 4月スタート

(3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）
該当なし

(4) 当該会計年度内に社員総会で議決又は同意した事項

令和5年 6月20日 2022年度 事業報告承認の件
2022年度 決算報告承認の件
資産総額変更の件
令和6年 3月22日 2024年度 事業計画（案）承認の件
2024年度 収支予算（案）承認の件
2024年度 借入金最高限度額決定の件

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債
該当なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債
該当なし

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設
該当なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容
該当なし

(9) その他

5月 超音波診断装置の購入
6月 個人用透析装置の購入
" ステラッド低温プラズマ滅菌システムの購入
" 勤怠管理システム更新
9月 JDL IBEX 財務システム更新
" 外科用イメージ装置の購入
1月 クリオstat・ミクローム（標本作製機）の購入
2月 上部消化管汎用ビデオスコープの購入
" 術中迅速病院診断の購入

3月 看護師寮兼保育所の建物完成
〃 文書管理システム導入

様式第一号

法人名 社会医療法人志聖会

所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表

(令和 6年 3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	2,043,358	I 流 動 負 債	1,044,293
現金及び預金	1,178,506	買掛金	270,537
事業未収金	799,368	未払金	194,347
貸倒引当金(▲)	▲ 4,875	1年以内に返済予定の 長期借入金	253,082
医薬品	35,265	預り金	6,620
診療材料	9,385	従業員等預り金	68,831
給食用材料	2,247	短期リース債務	59,464
貯蔵品	1,825	賞与引当金	186,033
前払費用	5,342	未払法人税等	71
未収入金	13,268	未払消費税等	5,306
その他の流動資産	3,023		
II 固 定 資 産	3,675,020		
1 有 形 固 定 資 産	2,489,514	II 固 定 負 債	1,018,978
建物	4,359,567	長期借入金	415,726
構築物	206,187	長期リース債務	238,615
医療用器械備品	1,762,760	退職給付引当金	364,636
その他の器械備品	521,869		
車両及び船舶	17,118		
土地	1,003,379		
建設仮勘定	45,350		
減価償却累計額(▲)	▲ 5,426,719		
2 無 形 固 定 資 産	73,546	負債合計	2,063,272
借地権	36,354	純資産の部	
ソフトウェア	37,151	科 目	金 額
その他の固定資産	40	I 積 立 金	3,655,107
3 その他の資産	1,111,959	設立等積立金	222,372
投資有価証券	3,662	本館建替準備積立金	1,102,837
従業員長期貸付金	34,755	繰越利益積立金	2,329,896
返還免除引当金(▲)	▲ 33,090		
出資金	1,000		
保証金	991		
本館建替準備積立預金	1,102,837		
その他の固定資産	4,999		
貸倒引当金(▲)	▲ 3,196	純資産合計	3,655,107
資産合計	5,718,379	負債・純資産合計	5,718,379

様式第二号

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		5,128,344
2 事業費用		5,449,790
本来業務事業利益		▲ 321,445
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		82,813
2 事業費用		78,903
附帯業務事業利益		3,910
事業利益		▲ 317,535
II 事業外収益		
補助金・負担金収入	215,560	
その他の事業外収益	24,404	239,965
III 事業外費用		
支払利息	1,202	
その他の事業外費用	11,063	12,266
経常利益		▲ 89,836
IV 特別利益		
固定資産売却益	199	
貸倒引当金戻入益	10,392	10,592
IV 特別損失		
固定資産除却損	32,030	
試算の控除対象外消費税等	29,457	
その他の臨時費用	24,360	85,848
税引前当期純利益		▲ 165,092
法人税・住民税及び事業税		71
当期純利益		▲ 165,163

様式第三号

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号 01812

財 産 目 録
(令和 6 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	5,718,379 千円
2. 負 債 額	2,063,272 千円
3. 純 資 産 額	3,655,107 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	2,043,358
B 固 定 資 産	3,675,020
C 資 産 合 計 (A + B)	5,718,379
D 負 債 合 計	2,063,272
E 純 資 産 (C - D)	3,655,107

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input type="checkbox"/> 賃借 <input checked="" type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(<input checked="" type="checkbox"/> 法人所有 <input type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 5

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号				
-----------	--	--	--	--

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の 内容	関係事 業者と の関係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事 業者と の関係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

監 事 監 査 報 告 書

社会医療法人 志 聖 会
理 事 長 竹 腰 篤 殿

私たちは、社会医療法人 志聖会の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。
その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (5) 今後本館建築に向けて、財務体制強化と事務局体制の充実が期待されます。

令和 6 年 6 月 1 4 日

社会医療法人 志 聖 会

監 事

子 田 康 右

監 事

川 本 一 男

様式第四号

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号

純 資 産 変 動 計 算 書
(自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

	積立金				純資産合計
	設立等積立金	本館建替準備積立金	繰越利益積立金	積立金合計	
令和 5年4月1日 残高	222,372	1,102,837	2,495,060	3,820,270	3,820,270
会計年度中の変動額					
当期純利益	0	0	▲ 165,163	▲ 165,163	▲ 165,163
会計年度中の変動額合計	0	0	▲ 165,163	▲ 165,163	▲ 165,163
令和 6年3月31日 残高	222,372	1,102,837	2,329,896	3,655,107	3,655,107

様式第五号

法人名 社会医療法人志聖会

※医療法人整理番号

所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

有形固定資産等明細書

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差 引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建 物	4, 295, 395	196, 804	132, 632	4, 359, 567	3, 452, 971	45, 021	906, 595
	構 築 物	200, 446	5, 741	—	206, 187	187, 133	1, 313	19, 054
	医療用器械器具	1, 764, 406	90, 576	92, 223	1, 762, 760	1, 503, 221	121, 832	259, 538
	その他の器械備品	521, 744	1, 797	1, 672	521, 869	266, 274	50, 534	255, 595
	車両及び船舶	18, 218	—	1, 099	17, 118	17, 118	—	0
	土 地	1, 003, 379	—	—	1, 003, 379	—	—	1, 003, 379
	建 設 仮 勘 定	1, 350	253, 269	209, 269	45, 350	—	—	45, 350
	計	7, 804, 941	548, 187	436, 895	7, 916, 234	5, 426, 719	218, 702	2, 489, 513
無形 固定 資産	借 地 権	36, 354	—	—	36, 354	—	—	36, 354
	ソフトウェア	147, 376	8, 500	—	155, 876	118, 725	9, 457	37, 151
	その他の無形固定資産	40	—	—	40	—	—	40
	計	183, 772	8, 500	—	192, 272	118, 725	9, 457	73, 546
その 他の 資産	投資有価証券	3, 682	—	20	3, 662	—	—	3, 662
	従業員長期貸付金	43, 325	2, 160	10, 730	34, 755	—	—	34, 755
	返還免除引当金	▲ 39, 552	7, 500	1, 037	▲ 33, 090	—	—	▲ 33, 090
	出 資 金	1, 000	—	—	1, 000	—	—	1, 000
	保 証 金	1, 005	—	13	991	—	—	991
	長期前払費用	5, 184	—	5, 184	—	—	—	—
	本館建替準備積立預金	1, 102, 837	—	—	1, 102, 837	—	—	1, 102, 837
	その他の固定資産	5, 247	4, 999	5, 247	4, 999	—	—	4, 999
	貸倒引当金	▲ 3, 525	3, 525	3, 196	▲ 3, 196	—	—	▲ 3, 196
	計	1, 119, 204	18, 184	25, 427	1, 111, 959	—	—	1, 111, 959

様式第六号

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸 倒 引 当 金	10,392	8,072	0	10,392	8,072
賞 与 引 当 金	217,219	450,000	459,328	21,857	186,033
退 職 給 付 引 当 金	380,986	49,715	60,476	5,589	364,636
返 還 免 除 引 当 金	39,552	1,037	7,500	0	33,090

*＜減少の理由＞ 貸倒引当金の繰入限度額の洗い替えの為減

様式第七号

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号

借入金等明細表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	0	160,000	0.55	—
1年以内に返済予定 の長期借入金	132,988	93,082	0.43	—
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	508,808	415,726	0.57	2030年12月
合 計	641,796	668,808	—	—

長期借入金返済予定額 (千円)

2024年度	93,082	2025年度	76,462	2026年度	71,424	2027年度	71,424	2028年度	71,424
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

様式第八号

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6.

※医療法人整理番号

有 価 証 券 明 細 表

【債 券】

銘 柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
岐阜カントリークラブ	1口	2,262
岐阜関カントリー倶楽部	1口	1,400
	口	
計		3,662

様式第九の一号

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用	附 帯 業 務 事 業 費 用	合 計
	事 業 費		
材料費	1,145,187	0	1,145,187
給与費	3,196,371	68,378	3,264,749
委託費	197,804	4,833	202,637
経費	745,207	5,691	750,898
設備関係費	438,939	3,485	442,424
研究研修費	9,967	47	10,014
医業費	296,302	2,158	298,460
その他の事業費用	165,219	0	165,219
計	5,449,790	78,903	5,528,693

様式第九の二号

法人名 社会医療法人志聖会
所在地 愛知県犬山市大字五郎丸字二夕子塚6

※医療法人整理番号

事業費用明細表
(自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 材料費		
期首材料棚卸高	62,164	
医薬品費	382,120	
医薬品試薬	193,248	
診療材料費	490,933	
給食用材料費	14,128	
医療用消耗器具備品費	51,318	
期末材料棚卸高	▲ 48,724	1,145,187
II 給与費		
医師給	541,382	
医療技術員給	375,822	
看護師給	668,167	
事務員給	276,759	
労務員給	82,345	
(非)医師給	166,701	
(非)医療技術員給	18,748	
(非)看護師給	133,345	
(非)事務員給	64,173	
(非)労務員給	44,610	
役員報酬	280	
賞与	245,181	
賞与引当金繰入	186,033	
退職給付費用	49,715	
法定福利費	411,483	3,264,749
III 委託費		
検査委託費	33,072	
寝具委託費	6,670	
清掃委託費	65,670	
保守委託費	59,083	
その他委託費	38,140	202,637
IV 経費		
1 設備関係費		
車両関係費	5,088	
修繕費	22,736	
減価償却費	228,159	
機器賃借料	94,169	
地代家賃	42,789	
固定資産税等	2,464	

機器保守料	45,831	
機器設備保険料	1,185	442,424
2 研究研修費		
図書費	3,358	
研究旅費	3,626	
研究雑費	3,029	10,014
3 医業費		
福利厚生費	17,573	
旅費交通費	2,971	
通信費	9,548	
広告宣伝費	3,932	
交際接待費	4,676	
消耗品費	22,917	
消耗器具備品費	15,981	
水道光熱費	122,576	
保険料	6,005	
租税公課	239	
会費組合費	4,744	
職員被服費	19,730	
求人費	21,116	
貸倒引当金繰入額	8,072	
返還免除引当金繰入額	1,037	
雑費	37,334	298,460
V その他の事業費用		
控除対象外消費税等負担額	165,219	165,219
事業費用計		5,528,693

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項 該当なし

2 資産の評価基準及び評価方法

- ①有価証券の評価基準及び評価方法
 其他有価証券(時価のないもの)
 移動平均法による原価法を採用しております。
- ②たな卸資産の評価基準及び評価方法
 最終仕入原価法による低価法を採用しております。

3 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産(リース資産を除く。)
 定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(付属設備を除く。)及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物は定額法)を採用しております。
- ②無形固定資産(リース資産を除く。)
 定額法を採用しております。
- ③リース資産
 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

4 引当金の計上基準

- ①貸倒引当金
 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法における貸倒引当金の繰入限度額を、貸倒懸念債権等特定の債権については回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ②賞与引当金
 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。
- ③退職給付引当金
 従業員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務に基づき当会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。
 なお、当医療法人は前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、簡便法を適用し、退職給付債務を期末自己要支給額により算定しております。
- ④返還免除引当金
 将来の看護修学資金貸付の返還免除による損失に備えるため、返還免除の実積率により返済免除見込額を計上しております。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

- ①消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
- ②資産に係る控除対象外消費税等は発生会計年度の期間費用としております。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

補助金等の会計処理方法

補助金等の収益計上時期については、交付決定を受けた会計年度に収益として計上しております。

- 7 重要な会計方針を変更した旨等
該当なし
- 8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項
該当なし
- 9 担保に供されている資産に関する事項
《担保に供している資産》
建物 : 775,958千円
土地 : 1,003,379千円
《担保に係る債務》
短期借入金 : 160,000千円
長期借入金 : -千円
(1年以内に返済予定を含む)
- 10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項
該当なし
- 11 重要な偶発債務に関する事項
該当なし
- 12 重要な後発事象に関する事項
該当なし
- 13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項
補助金の内訳
交付者:厚生労働省・愛知県等
損益計算書への影響額 : 215,560千円
貸借対照表への影響額(未収入金) : 10,379千円

独立監査人の監査報告書

令和6年6月20日

社会医療法人志聖会
理 事 会 御中

加藤章紀公認会計士事務所

愛知県名古屋市

公認会計士

加 藤 章 紀

監査意見

私は、医療法第51条第5項の規定に基づき、社会医療法人志聖会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第11期会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうか

かを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上